

令和2年度 大阪府立桜塚高等学校 第3回 学校運営協議会

令和3年2月22日（月）15時00分より

大阪府立桜塚高等学校 図書室

<第1部 全定合同会議>

※ 今回は、時間の関係上、自己紹介のみ

校長挨拶、准校長挨拶、会長挨拶、副会長挨拶

委員自己紹介

事務局自己紹介

<第2部 全日制 学校運営協議会>

委員 武庫川女子大学副学長、豊中市立第三中学校校長、
大阪府立桜塚高等学校 PTA 会長、豊中市地域教育協議会会長、
尚和会会長、桜援会会長、

事務局 教頭、事務部長、首席、指導教諭、教務主任、進路指導主事

1 校長挨拶

2 会長挨拶

3 報告

・令和2年度学校評価について

令和2年度学校経営計画（本年度の取り組み内容と総括）

1 学ぶ力をつける

（1）ノートパソコン等端末活用授業で意欲・関心や情報能力を高める

一人一台端末 ネット環境を強化

強化された環境において、より効果的な教育を模索、実践していくことが課題

今の子どもに適した授業を研究する

（2）英語の4技能を高める

武庫川女子大学と連携

(3) 生徒の学力向上と進路実現を支援する

明確な目標設定 出口を明確にする

中期的目標 専門コース制を生かし、生徒の学力の更なる効果的な向上を図り、第1志望の進路実現を図る。国公立大学30名合格を目標とする。

(4) 授業力向上等検討委員会を中心とした授業改善

主体的・対話的で深い学びの実現

(5) 総合的な探究の時間

キャリア教育を充実させる

(6) 朝学の充実

来年度から読解力の育成へ

(7) 図書館の活用

(8) 専門コース制をいかす

(9) 内発的な動機 授業外の学習時間の増加が課題

2 人間力をつける

(1) 遅刻数の減少。 目標達成。 生徒指導の組織力が向上している

(2) 教育相談体制の充実

いじめ対応委員会を設置 → 早期対応がしやすくなった。

(3) (4) 地域連携 学校行事

コロナの影響で予定通りには開催できなかったが、縮小実施。

3 地域の信頼される学校として桜塚を促進。広報する

・大槌高校とオンラインで交流

・広報活動を積極的に行う。 WEB ページを見やすく WEB 学校説明会も充実

4 グローバルリーダーの育成

英語力の強化 高い志と夢を持ったグローバルリーダーの育成

5 チーム力を生かした学校の組織力の向上と活性化

トップダウンとボトムアップダウンがミックスされた「ミドルアップダウン」

首席、運営委員会メンバー中心に

・令和2年度前期・後期授業アンケート

すべての項目がアップ

教材活用の項目が右肩上がり

授業展開がアップ

・令和2年度 学校教育自己診断 結果はまたご覧ください

【ご意見・ご質問】

Q. コロナの休校期間 授業はどんなふうに取り組まれたのか

A. 最初の1、2週は課題を郵送

4月下旬からはGoogle Classroomで課題を配信

連休明けからは時間割に沿って、オンライン授業 振り返りフォームで返信

6月から分散登校 半分は登校、半分はオンライン

土曜日授業で補充

オンライン授業については生徒の評価も高かった。

Q. 遅刻が減った原因は？いろいろな理由で登校しにくい生徒が増えていると聞く

A. 理由はたくさんあり、起立性障害等の遅刻もある。理由によって指導内容を工夫。

Q. 学校教育自己診断の結果 「学校へ行くのが楽しい」が減っているのはなぜ？

A. コロナもあるが、学校に適應できない生徒が増えている。転学する生徒も増えている。

Q. 部活動は今年度どうだったのか？3中フェスタ等、地域の行事もできなくて残念

A. どの部活も活動が制限された。ダンス部は全国大会中止でオンライン審査。

Q. 授業の形態等、アクティブラーニングなど、ご苦労されたのでは？

A. 家庭科、アクリル板を立てて実習。教室での話し合い、ペアトークは距離を取って。グループワークはしても、距離をとって。できる範囲で。

・Google Classroomについて マイクロソフト社が管理しているので、突然契約解除されたり等の心配があるのでは？大阪府教育委員会で解決してもらえるように。

・大阪府教育委員会でGoogleアカウントを取得

Q. 中学のICTは？

A. まだまだ進んでいない。

・ 中学でのコロナの影響について 修学旅行中止 そもそも修学旅行に行く意味は？
授業についてもひとつひとつ何のために、当たり前をやってきたことを見直すきっかけになった。
不登校の生徒が分散登校で登校。不登校の生徒もオンラインにはアクセス。
不登校の生徒にタブレット配布する必要がある。
コロナ対応でいろんなことを見直すきっかけに。

・ 学校教育自己診断 いろんな項目で評価が高い。いじめ、人権の問題など

Q. 今年度の進路の状況について 進路から報告をお願いします

A 69期をピークに私学 関関同立 産近甲龍合格者数が減っている。71期、72期は大学が合格者数をしぼり、苦戦。今年度は70期ほどの数字に戻ってきている。各大学合格者を増やす傾向になってきている。今年の3年生はよく勉強している結果が出ている。

・ 今年の3年生 授業が計画通り進められなかったり、共通テストの変更など 苦労があった。受験者数が増えたところは少ない。

・ 高校入試も私学受験が増えている。府立高定員割れが心配である

・ 関西では公立が頑張っているが、公立もこれからは特色づくりが大切。今は少子化で、子どものニーズにあう学校。地域との結びつきも大事。

4 協議

令和3年度学校経営計画について

1 (4) 端末を活用した次世代授業

(5) 探究の時間における、キャリア教育の充実をはかる。

(6) 朝学削除 観点別評価をすすめる

SSSC を中止 (多忙化解消、アレルギー対応の困難さ等で)、校内での取り組みへ

5 (2) 土曜日授業の項目を削除 教科ごとの組織力をアップ

(4) 情報部の項目を削除

・ 令和3年度学校経営計画について委員の承認を得ることができました。

【ご意見・ご質問】

・ 観点別評価について説明 全教科3観点での評価へ 新学習指導要領
平常点をつけられない。テスト80点平常点20点等の評価から33%ずつの評価へ。来年度試行期間、
再来年から本格的に開始

・中学では 今年度コロナの影響により、1学期の評価は考査がなく、日頃の取り組みで評価。 評価対象の人数も多く 日頃の取り組みだけで評価するのは困難であった。実技、持ち時間数の多い先生は特に苦勞した。

Q、生徒に対して、評価基準を明確に伝えているのか？

A、明確な基準については今のところ白紙

・評価については説明できるようにしておかなくては

・大事なのは自分が目的意識を持つこと。内発的な学習動機が大切。組織的に取り組むこと。「1年では」「2年では」「社会に出た時には」等、目標を明確にする。もっと先をイメージできるように。

・親学習 これからの計画について考えさせると、楽しそうにやっている。

・人間力 自己肯定感を育む取り組みを桜塚はやってきている。

「ほむらの野の像」など学校の伝統の重さを、生徒に周知することも効果的ではないか？

・「ほむら野に立つ」本出版 当時の経験がなかなかきけなくなっている。 「ほむら野に立つ」の本を生徒に読んで欲しい。

・学校の仲間が頑張っている。みんなで頑張ろう。そんな雰囲気づくり 部活動ブログを活用したい。軽音は地域と連携。とても良い取り組みをしている。

Q 相互授業見学をやっているか？

・今年度はテーマを設定し、数名に絞って実施

・他教科の授業を見学することは非常に大きな意味はある。

・生徒がコロナで目標を持ちにくくなっている。夢を持つことをサポートしてほしい